

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	中国語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Chinese		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	沈 麗華（学内連絡教官 湯川 敬弘）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
中国語の読解力及びコミュニケーション能力の総合的向上

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
1年時に「中国語一、二」の授業を履修のこと

<b>【教科書等】</b>
最初の授業時に指定する

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>語学の学習は、単に発音や単語の習得、文法の理解のみでは深まらない。すなわち、その国の風俗、習慣や生活様式など、いわゆる「文化」の理解と有機的に結び合わされることによって言語の習得は促進される。本授業では、中国語学習の初級課程を一通り終えた人を対象に、現代中国事情を題材にして、中国文化についての理解を深めながら、読解力、会話力とヒヤリング能力の総合的向上をめざす。</p>

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業への出席状況、授業中の小ドリル、期末試験を総合して評価する。期末試験が合格点でも、出席の満たないものは単位を出さない。

### 【オフィスアワー：授業相談】

### 【学生へのメッセージ】

語学の習得には毎日の予習復習が大切である。週1回の授業であるから、授業にはできる限り出席することはもちろん、授業日以外の日にも予習復習に心がけて欲しい。

### 【その他】